

23.【性比】意外に大きい地域差・結婚適齢層は都市部で女性比重が高い？

世の中には男性と女性がいます。近年は性的マイノリティ(LGBTQ)を巡る議論もありますが、男性と女性は、多くの生物での雄と雌がそうであるように、ほぼ同数であることによりバランスが保たれています。男女比のことを性比といい、一般に女性 100 人に対する男性の数で表します。これは概ね 100 になるわけですが、実際には女性の方が平均寿命が長いため、バランスをとるためか、生まれてくる子どもの性比（出生性比）は 100 を上回っています。神様のなせるワザというべきでしょうか。

神が司る性比ですから、その地域差はあまりないだろうと思っていましたが、人口統計上で都道府県別、市区町村別に性比をとってみると意外に幅があることがわかったため、ここで記事にすることにします。

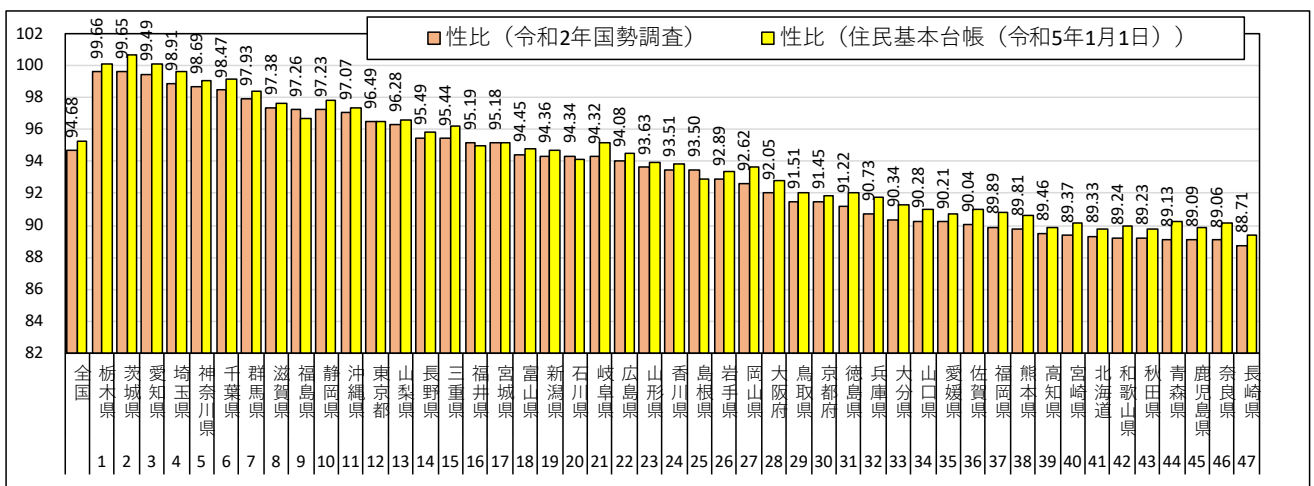
人口統計には、5年毎の調査時点に実際に居住している場所でカウントする国勢調査と、住民票を置いている場所でカウントする住民基本台帳人口があり、その両者の人口は一致しません。住民票を郷里に置いたまま就学や単身赴任、長期出張などで別の場所に居住するケース等があるためですが、地域人口における性比もこれに伴い異なることになり、そのため、ここでの「性比」の比較も、国勢調査（最新は令和2年）と住民基本台帳人口（令和5年1月1日現在）の両面で見ることになります。

なお、ここでの性比計算の元となる人口には外国人も含めています。

☞全人口では性比 100 以下だが結婚適齢層では 100 超が多く、茨城・栃木が男性比重最多

下に、令和2年国勢調査による都道府県別の人口性比が高い順に並べたものを示します。令和5年1月1日現在の住民基本台帳人口による性比も併せて示していますが、その順位は必ずしも一致せず、微妙に異なっています。

都道府県別の全人口による「性比」



資料: 令和2年国勢調査、住民基本台帳に基づく人口調査 2023

国勢調査による全国の性比は 94.7 と計算され、都道府県別の最上位の栃木県でも 99.7 と 100 に達しておらず、女性に比べ男性の数が少ない計算になりますが、女性の方が平均寿命が長いことから、人口比重が高い高齢者層での女性の比重が強く作用している結果と思われます。

2位以下は、茨城、愛知、埼玉、神奈川、千葉、群馬、滋賀、福島、静岡、沖縄と続き、相対的に男性の比重が高い都道府県が東西どちらに偏っているなどの法則性はあまり見られません。

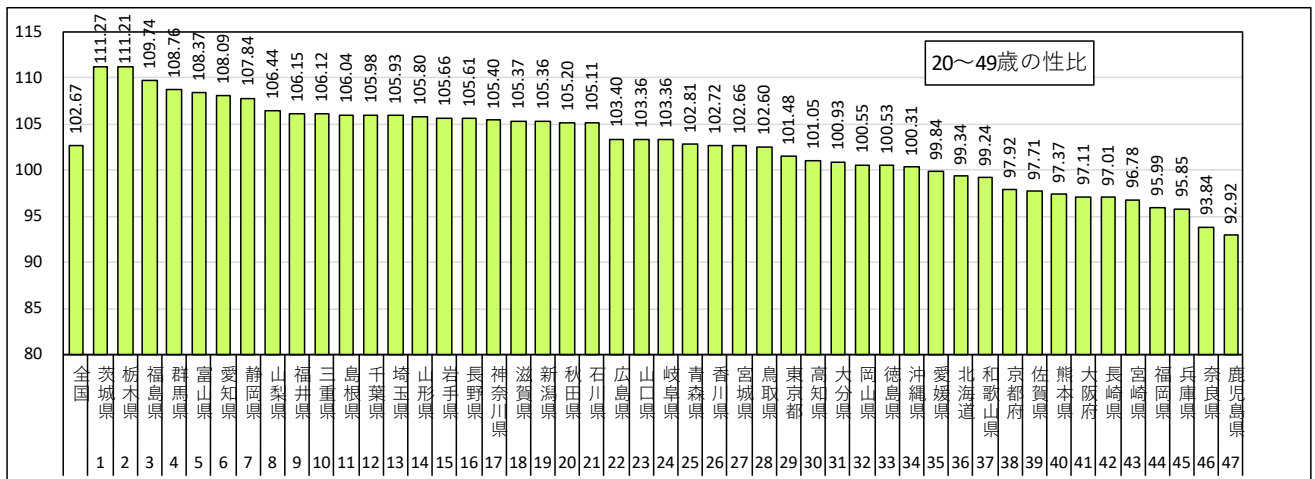
逆に、性比が最も低い、つまり女性の比重が相対的に高いのは長崎県で、奈良、鹿児島、青森、秋田、和歌山、北海道、宮崎、高知、熊本、福岡と合わせてその値が80台のグループを構成しています。高齢者の女性比率だけでなく、これらの道県では男性が県外に流出する例が多いのではとも考えられますが、九州で人を集める印象が強い福岡県でも性比が低いのが意外にも見えます。

因みに、東京都は96.5（12位）で全国平均より男性比重が高く、大阪府は92.1（28位）で全国平均より女性比重が高くなっています。

男女の割合の違いは、特に若い世代での「お相手」探しに影響がありそうですし、少子化対策の上でも関心を持たれそうなので、実質的な結婚・出産適齢世代と言える20～49歳に絞った性比（令和2年国勢調査による）を算出して高い順に並べたものを下の図に示します。

全体に数値が上昇し34都道府県で100を超えており、1位が茨城県に入れ代わるなど、順位の変動が見られます。ここで最も女性比率が高いのは鹿児島県（性比92.9）となります。東京都は29位、大阪府は41位と、女性比重が高い方に動いていますが、年齢構成の相違（大都市部は若い世代の比重が高い）が影響しています。

20～49歳（結婚・出産適齢層）の都道府県別の「性比」



資料：令和2年国勢調査

☞特に京阪神の都市部では結婚適齢層での女性比重が高い？

同じことを市区町村別に行い、国勢調査、住民基本台帳人口の双方で、性比の上位・下位それぞれ25ずつを抽出したものを次ページの表に示します。

都道府県別でも性比は99.7～88.7と意外に大きな幅がありましたが、市区町村別（国勢調査）ではその幅が164.6～78.3とさらに大きく広がります。

最も値が高い（男性の比重が高い）沖縄県北大東村は性比が164.6で、男性が女性の1.6倍以上という構成ですが、同じく性比の上位には同様の離島部や中山間地域の町村名が目立ちます。これらの市町村では、女性の流出が多いか、あるいは特に離島では設置される公的機関への単身赴任に男性が多いなどの事情もありそうです。9位に大阪市西成区があるのは、「あいりん地区」に集まる男性労働者の影響が大きいのでしょうか。また、11位の青森県六ヶ所村、17位の山梨県忍野村、21位の佐賀県玄海町などは、それぞれ原子力関係施設、大手電気機器メーカーのファナック本社工場、原子力発電所といった大きな施設に男性従業員が多くいることも影響していると思われます。

逆に女性の割合が最も高いのは京都市東山区の 78.3 で、祇園の舞妓さんの姿が頭に浮かびます。そのほか、札幌や福岡など大都市中心部の名も見られるのがやや意外にも感じます。ただ、地方の町村や都市の名も混在しており、それぞれに背景事情があると思いますが、地理的分布の法則性は見だしにくいところです。

令和2年国勢調査による
市区町村別「性比」の順位

順位	(県)	市区町村名	性比	人口(人)
1	沖縄	北大東村	164.57	590
2	東京	小笠原村	160.59	2,929
3	東京	青ヶ島村	152.24	169
4	東京	利島村	151.54	327
5	長野	川上村	147.80	4,344
6	沖縄	渡名喜村	147.14	346
7	北海道	月形町	145.09	3,691
8	沖縄	南大東村	137.52	1,285
9	大阪	大阪市西成区	136.80	106,111
10	山梨	早川町	133.12	1,098
11	青森	六ヶ所村	132.60	10,367
12	沖縄	粟国村	128.43	683
13	東京	御蔵島村	127.46	323
14	東京	三宅村	126.39	2,273
15	長野	南牧村	125.92	3,242
16	鹿児島	十島村	125.61	740
17	山梨	忍野村	125.29	9,237
18	沖縄	東村	123.81	1,598
19	秋田	東成瀬村	122.92	2,704
20	沖縄	与那国町	122.58	1,676
21	佐賀	玄海町	120.65	5,609
22	沖縄	座間味村	119.70	892
23	北海道	幌延町	119.33	2,371
24	沖縄	多良間村	119.05	1,058
25	奈良	十津川村	118.96	3,061
.
1863	福岡	田川市	83.73	46,203
1864	和歌山	古座川町	83.70	2,480
1865	鳥取	日野町	83.52	2,907
1866	北海道	上砂川町	83.41	2,841
1867	北海道	増毛町	83.30	3,908
1868	大分	別府市	83.27	115,321
1869	青森	大鰐町	83.15	8,665
1870	北海道	函館市	83.11	251,084
1871	秋田	八郎潟町	83.11	5,583
1872	北海道	札幌市中央区	83.09	248,680
1873	北海道	札幌市厚別区	83.06	125,083
1874	和歌山	北山村	82.81	404
1875	北海道	赤平市	82.64	9,698
1876	青森	五所川原市	82.56	51,415
1877	北海道	乙部町	82.47	3,403
1878	福岡	大任町	82.37	5,008
1879	北海道	三笠市	82.35	8,040
1880	静岡	熱海市	82.25	34,208
1881	北海道	小樽市	81.97	111,299
1882	福岡	福岡市中央区	81.78	205,501
1883	北海道	松前町	81.19	6,260
1884	山口	阿武町	80.98	3,055
1885	兵庫	芦屋市	80.92	93,922
1886	和歌山	太地町	78.68	2,791
1887	京都	京都市東山区	78.34	36,602

資料: 令和2年国勢調査

住民基本台帳人口(令和5年1月1日)による
市区町村別「性比」の順位

順位	(県)	市区町村名	性比	人口(人)
1	沖縄	北大東村	140.89	542
2	沖縄	南大東村	138.19	1,210
3	大阪	大阪市西成区	137.33	104,875
4	東京	青ヶ島村	136.62	168
5	沖縄	渡名喜村	131.39	317
6	沖縄	粟国村	124.24	666
7	東京	小笠原村	123.85	2,581
8	東京	三宅村	123.83	2,301
9	沖縄	座間味村	123.19	895
10	東京	利島村	121.68	317
11	沖縄	与那国町	120.87	1,725
12	沖縄	渡嘉敷村	120.63	695
13	沖縄	東村	120.38	1,752
14	青森	六ヶ所村	120.08	9,886
15	山梨	忍野村	119.66	9,799
16	沖縄	多良間村	119.19	1,085
17	沖縄	伊是名村	117.64	1,308
18	鹿児島	十島村	117.55	657
19	神奈川	川崎市川崎区	116.88	232,123
20	長野	川上村	116.87	3,806
21	沖縄	伊平屋村	116.61	1,213
22	沖縄	久米島町	114.81	7,413
23	北海道	奥尻町	114.25	2,346
24	北海道	音威子府村	113.42	668
25	山梨	丹波山村	113.15	535
.
1863	和歌山	九度山町	85.15	3,840
1864	熊本	氷川町	85.02	11,179
1865	大分	別府市	85.01	113,735
1866	北海道	芦別市	84.76	11,976
1867	奈良	曽爾村	84.76	1,321
1868	青森	五所川原市	84.70	51,637
1869	北海道	三笠市	84.69	7,722
1870	京都	京都市上京区	84.68	75,584
1871	福岡	大任町	84.35	5,147
1872	北海道	札幌市厚別区	84.35	124,667
1873	秋田	八郎潟町	84.11	5,376
1874	京都	京都市中京区	83.85	104,980
1875	北海道	増毛町	83.65	3,853
1876	和歌山	北山村	83.64	404
1877	北海道	函館市	83.54	244,431
1878	北海道	乙部町	83.53	3,331
1879	北海道	赤平市	83.50	9,008
1880	北海道	札幌市中央区	83.16	244,032
1881	静岡	熱海市	82.97	34,433
1882	兵庫	芦屋市	82.52	95,378
1883	北海道	小樽市	82.46	108,548
1884	山口	阿武町	82.42	3,072
1885	京都	京都市東山区	81.69	33,336
1886	福岡	福岡市中央区	80.76	197,535
1887	和歌山	太地町	80.69	2,891

住民基本台帳に基づく人口調査 2023

また、ここでも 20～49 歳に絞った人口での性比を算出し、上位・下位の 25 ずつを右表に示します。

全体と同様に、男性比重が高い上位には離島の町村もありますが、1 位は長野県川上村で、その値はなんと 269.1 です。女性の 2.7 倍も男性がいる計算ですが、ここは 5 位の南牧村とともに高原野菜の産地で、その作業に外国人技能実習生を多く活用しているところで、その多くが男性という特殊事情があります。ただ、やはり人口が少ない町村が上位では目立つところです。

逆に女性の比重が最も高いのは福岡市中央区、2 位が京都市東山区で、そのほかここでの女性比重上位には大都市内やその近郊都市の名が多く並んでいます。都市部の 20～40 代で女性の割合が高いことは、「お相手」を見つける上では男性にはうれしく、女性には厳しいというところでしょうか。

次ページのマップには、この 20～49 歳での性比における男性比重が高い上位 25、女性比重が高い同じく 25 の位置を示しています。女性比重が高い市区町村の順位は、右表を下から数えていることにご注意ください。

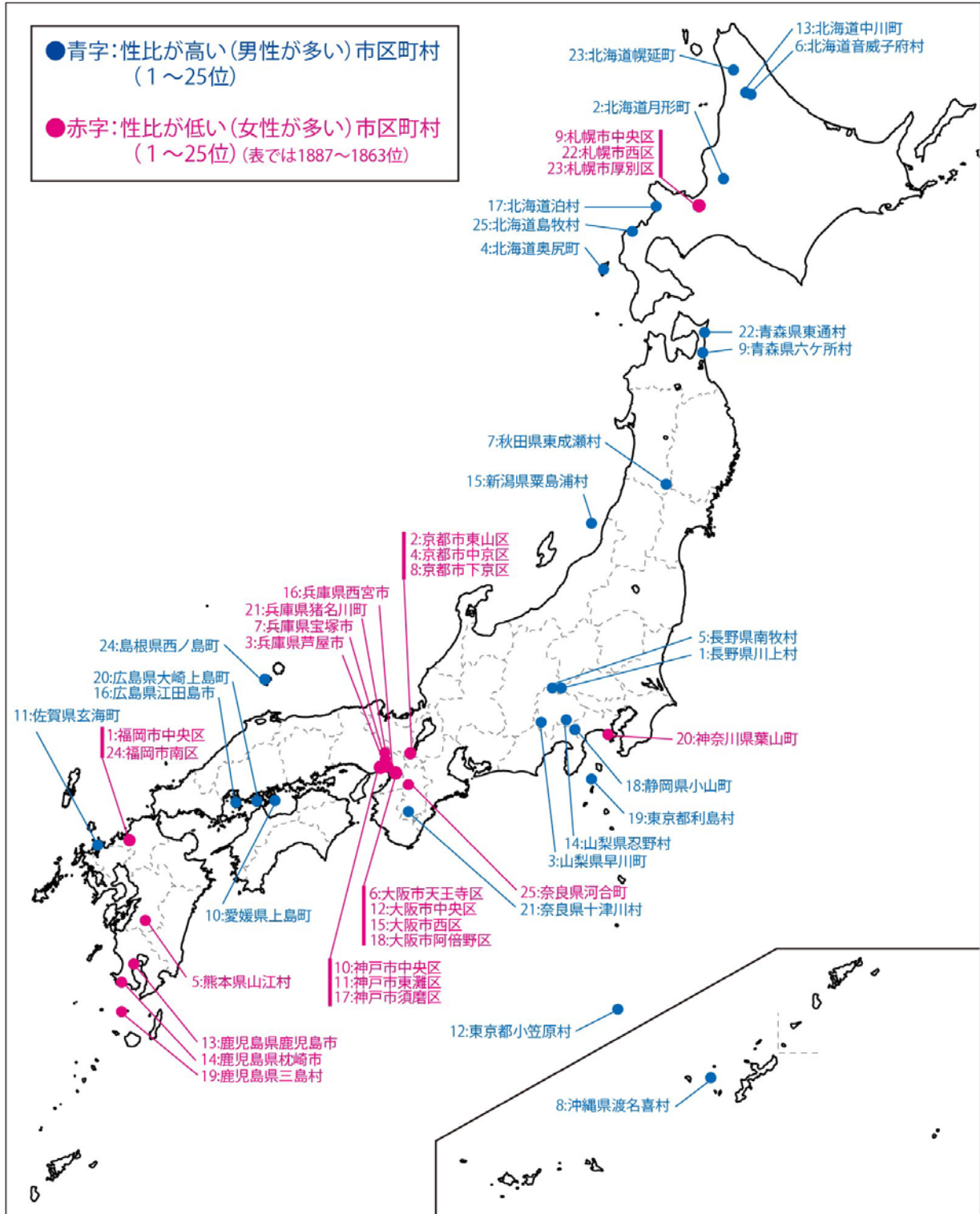
これによると、女性比重上位の都市は京阪神エリアに多く分布していることがわかります。彼女を見つけない男性の方、京阪神が狙い目かもしれませんよ（笑）。

20～49 歳の市区町村別「性比」の順位
(令和 2 年国勢調査による)

順位	(県)	市区町村名	性比	人口(人)	
上位 (男が多い)	1	長野	川上村	269.06	1,801
	2	北海道	月形町	255.69	1,156
	3	山梨	早川町	221.28	302
	4	北海道	奥尻町	220.19	666
	5	長野	南牧村	208.01	1,192
	6	北海道	音威子府村	203.28	185
	7	秋田	東成瀬村	197.27	761
	8	沖縄	渡名喜村	185.71	80
	9	青森	六ヶ所村	184.68	3,977
	10	愛媛	上島町	178.95	1,484
	11	佐賀	玄海町	176.52	1,684
	12	東京	小笠原村	174.42	1,427
	13	北海道	中川町	169.93	413
	14	山梨	忍野村	169.17	3,876
	15	新潟	粟島浦村	164.52	82
	16	広島	江田島市	163.28	6,195
	17	北海道	泊村	161.58	463
	18	静岡	小山町	160.31	6,638
	19	東京	利島村	158.49	137
	20	広島	大崎上島町	156.40	1,482
	21	奈良	十津川村	154.51	677
	22	青森	東通村	153.83	1,721
	23	北海道	幌延町	153.45	844
	24	島根	西ノ島町	152.40	737
	25	北海道	島牧村	152.38	371
.	
下位 (女が多い)	1863	奈良	河合町	89.37	4,577
	1864	福岡	福岡市南区	88.76	103,604
	1865	北海道	札幌市厚別区	88.64	39,189
	1866	北海道	札幌市西区	88.57	77,927
	1867	兵庫	猪名川町	88.34	8,500
	1868	神奈川	葉山町	88.18	9,106
	1869	鹿児島	三島村	88.06	126
	1870	大阪	大阪市阿倍野区	87.82	40,221
	1871	兵庫	神戸市須磨区	87.75	47,797
	1872	兵庫	西宮市	87.50	174,161
	1873	大阪	大阪市西区	86.89	54,231
	1874	鹿児島	枕崎市	86.54	4,863
	1875	鹿児島	鹿児島市	86.50	185,456
1876	大阪	大阪市中央区	86.39	55,385	
1877	兵庫	神戸市東灘区	86.22	72,068	
1878	兵庫	神戸市中央区	86.10	56,189	
1879	北海道	札幌市中央区	85.70	98,293	
1880	京都	京都市下京区	85.16	34,245	
1881	兵庫	宝塚市	85.06	73,436	
1882	大阪	大阪市天王寺区	84.48	33,575	
1883	熊本	山江村	83.61	784	
1884	京都	京都市中京区	83.53	42,643	
1885	兵庫	芦屋市	80.33	28,669	
1886	京都	京都市東山区	78.62	12,491	
1887	福岡	福岡市中央区	76.89	90,183	

資料：令和 2 年国勢調査

20～49歳の「性比」上位（男性比重が高い）と下位（女性比重が高い）の市区町村マップ



資料：令和2年国勢調査